

2026 年 3 月 4 日

各 位

会社名 フェスタリアホールディングス株式会社

代表名 代表取締役社長 貞松隆弥

(コード番号：2736 東証スタンダード市場)

「人的資本経営推進分析融資」の契約締結に関するお知らせ

フェスタリアホールディングス株式会社（本社・東京都品川区、代表取締役社長・貞松隆弥、以下・当社）は、このたび株式会社三井住友銀行（本店・東京都千代田区、頭取 CEO・福留朗裕、以下・三井住友銀行）と「人的資本経営推進分析融資」（以下・本融資）の融資契約を締結しました。本融資は三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（本社・東京都品川区、代表取締役社長・内川淳、以下・日本総研）が作成した独自の評価基準（以下・本評価）に基づき、企業の人的資本経営に関する取り組みや情報開示を評価し、取り組みや情報開示の適切さについて現状分析、今後の課題、課題への取り組み事例などが還元される融資商品です。

人的資本経営において、当社は以下の点で、良好な取り組みと情報開示を実施されているとの評価をいただきました。

- ① 会社の成長を支える上で核となる必要な店長人材の数と現状の店長候補のギャップを把握し、次なる店長の計画的な育成に注力している点や、社内の各部署における重要な職務要件を整理・見える化し、従業員のキャリア設計上も有用な仕組みを構築しようとするなど、重点戦略を推進する上で必要な人材像について幅広く取り組みをされています。
- ② 取締役会や経営会議などの経営上重要な会議体で、人材戦略について定期的に議論がなされています。その内容についても、戦略面及び具体的な施策面の両面について議論がなされており、人的資本経営を推進する上で重要な経営陣のコミットメントが適切になされていると思料します。
- ③ 従業員が健康に働くために、労災を防止するためのリスクアセスメントやワークスペースを整備するだけでなく、プレゼンティーズムなど労働生産性損失を可視化するなど、施策の効果を定量的に把握し、改善につなげようとされています。



当社は、持続的な成長および社会が求める価値を創出し続けるための基盤は「人」にあると考えております。人を単なる経営資源として捉えるのではなく、一人ひとりが有する知識や経験、専門性が組織全体の価値創造につながる存在であるとの認識のもと、人に関する取り組みを推進しております。

この考え方のもと、多様なバックグラウンドを持ち、理念やビジョンに共感する人材の採用を進めるとともに、「festaria Group エンゲージメントルール」を基軸とした人材育成を通じて、専門性やマネジメント力の向上、次世代リーダーの育成に取り組んでおります。また、多様な働き方の推進や女性の活躍支援を通じ、誰もが安心して挑戦・成長できる職場環境の整備にも注力しております。

今後も当社は、社会や事業環境の変化に柔軟に対応しながら、人の成長と組織の成長を両立させることで、新たな価値を創出し、サステナブルな成長を目指してまいります。

以上